



水戸シルバーだより

第77号

梅林

公益社団法人 水戸市シルバー人材センター

〒311-4143 茨城県水戸市大塚町1863-169

Tel : 029-303-7272 Fax : 029-303-7288 E-mail : mito@sjc.ne.jp

ホームページ : <http://www.mito-silver.com/>



「空家管理サービス」を開始します！

水戸市は平成31年に「水戸市空家等対策の推進に関する条例」を制定し、空家対策を施行しました。市内には約800軒の空家があり、当センターも樹木の剪定や雑草の草刈り等を行う関係団体として登録しています。

当センターでは、令和2年度に「空家管理サービス」の実施を事業計画に掲げ、開始に向け検討を始めました。その中で問題となったことは、個人情報保護と警備業法に抵触するおそれのある業務内容の見直しをすることでした。それらの問題については、県シルバー連合会や茨城県警察本部にひとつひとつ確認をし解消してまいりました。

当センターが行う空家管理のサービス内容は、所有者から依頼を受けた空家の建物の外観や庭の樹木や雑草の繁茂状態を目視で確認し、その空家現場の状況を写真に収めて所有者に報告する業務になります。

このたび、令和4年12月26日に水戸市と「水戸市空家等の適正管理の推進に関する協定」の締結を完了いたしました。(写真上)

水戸市とは互いに連携し協力して、市内の空家等の適正管理推進を図り、安全・安心で活力あるまちづくりに寄与していきます。

目次

- 空家管理サービス開始 1
- シルバー普及啓発活動 2
- 安全・委員会紹介・ドライバーセミナー 3
- 会員拡大推進研修会・接遇講習会 4
- 就業先訪問・刃物研ぎ・こみっとフェス 5
- 会員の声・安全スローガン受賞者紹介 6
- 桜川水系クリーン作戦・作品コーナー 7
- 千波湖クリーン作戦・サークル紹介・編集後記 8

空家の状態 心配ではありませんか?

水戸市シルバー人材センターが行う空家等の目視確認業務

当センターは、水戸市と空家等の適正管理を推進する協定を締結しています。空家等の目視確認業務を実施することにより、空家の状態を確認し、所有者に報告いたします。

目視確認業務

内容についてはお電話でお問い合わせください。空家等の目視確認を行います。

目視確認料(税別) 写真4枚以上撮影 写真1枚で1,000円(税込)です。撮影中の他は別途料金がかかります。

料金 1回 2,400円 (消費税を含む)

※お電話・お申し込みの際は、お名前・住所・電話番号を必ずお伝えください。

※お電話・お申し込みの際は、お名前・住所・電話番号を必ずお伝えください。

公益社団法人 水戸市シルバー人材センター

シルバー普及啓発活動

シルバーセンターをPRするため、数々の普及啓発活動を行っています。その中のいくつかをご紹介します。

① 関東鉄道バス広告

関東鉄道バスの、主に水戸市内を走るルートに、当センターの広告が掲示されています。乗降扉のすぐ横ですので、ご覧になられた方もいらつしやるでしょう。



関東バス広告 (全体)



会員募集中です!

② 市役所窓口封筒広告

皆さんも市役所や市民センターの窓口で住民票や印鑑証明等を交付申請された際、持ち帰るための封筒を利用したことがあると思います。その封筒に、当センターの広告を掲載しました。窓口にお越しになられた市民の方々へのPRが期待されます。



③ 水戸駅にてチラシ配布

シルバー人材センター普及啓



道行く人にシルバーをPR



発月間に合わせ、10月15日(土)に水戸駅にてチラシ配布活動が行われました。当日は役職員のほか、茨城県シルバー人材センター連合会の綿抜会長と長山事務局長にも参加いただきました。駅の北口と南口に分かれ、材センターをPRしました。

④ マイタウン水戸に出演

水戸市役所が提供している茨城放送の「マイタウン水戸」。毎回、市内のイベントや活動を紹介する番組に、当センターは2回目の出演となりました。

今回は女性会員と職員の4人が出演。入会動機や仕事内容、会員募集等幅広くお話ししました。

放送された内容は、YouTubeで公開されておりますので、ぜひご覧ください。

「マイタウン水戸」で検索



今アナウンサーの質問に答える会員

安全・適正就業委員会紹介

会員の健康と就業上の安全・適正就業について検討し、その対策を推進するために、安全・適正就業委員会が設置されています。

委員会は11名の会員と、2名の事務局職員で構成されています。活動内容は、委員会の開催、選考会の実施、安全パトロールの実施、安全就業だよりの発行、安全に係る講習会の開催等を担当しています。

また、事故報告を受けて事故発生防止のための対策や安全適正就業基準の改定を検討した



安全・適正就業委員会の様子



選考会の様子

り、安全パトロールの計画立案、結果の取りまとめ等を行っています。

市や企業等の現場において、増員やワークシェアリングによる求人募集があると、かわら版で募集し、選考会を開催しています。応募者の一人一人と面接を行った上で厳正な選考要件に基づいて、就業者を選考しています。

安全パトロールでは、会員の皆様が安全就業基準を守り、安全に作業を行っているかについて、シルバー安全・適正就業月間の7月、就業繁忙月の10月、管理業務状況の確認の2月にを行っています。不安全な作業を

行っている会員には厳しく指導を行っています。

パトロールの結果や、事故発生防止対策等の安全に係る情報や健康管理のための情報は、年数回発行する安全就業だよりで会員の皆様にお知らせしております。注意してお読みいただき、健康で安全な就業を心からお願いたします。

(安全・適正就業委員会)

ドライバー
セミナーに参加して

水戸警察署主催のシルバー・ドライバーセミナーが、令和4年10月3日午後茨城県自動車学校水戸校で開催されました。セミナーには、シルバー業務で主に公用車を使って就業している会員が中心となり、19名が参加しました。

セミナーでは、茨城県及び水戸市の事故発生状況の概況説明を受けた後、急発進した車が障害物の直前に急停車する安全システム等の解説がありました。

運転実技講習前の待ち時間に

は、参加者各自がもの忘れ相談プログラムテスト、動体視力反応テスト、俊敏性テストを受け、ついておりました。
死角体験コーナーでは、車の周りに置かれたたっくさんのカラーコーン等が座席に座ると全く見えなくなり、びっくりしました。運転実技コーナーでは細かいクランク等で脱輪したり、横断歩道上の歩行者を見て急ブレーキをかける参加者もいて、加齢に伴う運転技術の劣化を感じることとなり、改めて気を付けて運転することを心に誓うことになりました。



説明をする警察署員

会員拡大推進研修会

令和4年11月8日に県総合福祉会館で開催されました茨城県シルバー人材センター連合会主催の令和4年度女性役員による会員拡大推進研修会に参加しました。水戸市シルバー人材センターからは6名が参加しました。

研修会では、主催者のあいさつの後、千葉県流山市シルバー人材センター常務理事海老原さんから先進事例発表として「女性会員拡大と就業先確保へ」女性会員の活躍の軌跡」と題した発表がありました。流山市シルバー人材センターでは、会員増



意見交換を行う参加者たち



フレイル予防の発表

加のため、県シ連とタイアップして、会員拡大と就業先開拓への取り組み、女性部会の立ち上げ、女性会員の活躍の場を各種創出していきます。その結果、特に女性会員の入会が顕著になったとのことでした。

発表及び質疑の後、講師並びに流山市シルバー人材センター女性部会員及び連合会の女性役員である会員拡大推進プロジェクトチームメンバーによる意見交換等が行われました。

最後に、茨城県福祉部部長寿福祉課の担当者から、フレイル予防に係る講演がありました。フレイルとは、加齢とともに心身の生活機能や社会的なつながり

が弱くなった状態をいい、健康と要介護状態の間で、放っておくと要介護につながります。これを防ぐために歯と口の健康を守って三食を上手にとる等

栄養面での対策、ウォーキングやストレッチ等を行う運動面での対策、そして、趣味やボランティア、就労等の社会参加面での対策をとることが大切であるとのことでした。この講演を聞き、フレイル段階対処のため、食事、口腔機能、社会参加運動について計画を立てて、がんばって健康長寿を目指そうと強く思いました。

接遇マナー 講習会に参加して

新型コロナウイルス感染防止のためにここ2年程開催されていませんでした接遇マナー講習会が3年ぶりに開かれました。2月7日

に開催されました1回目の講習会には10名が、2月13日の2回目には15名が参加しました。講師は、各地のシルバー人材センターでの研修経験を持つ合同

会社アップグロースの宮澤代表で、接遇の基本、苦情の要因と事例、苦情対応の基本等約2時間の講演でした。

自分の心の中にある気持ちや感情を伝える手段には、「視覚」(身だしなみ、表情等)、「聴覚」(声の大きさ、トーン等)、「話の内容」の3つがあり、第一印象への影響力はそれぞれ、55%、38%、7%となっています。話の内容よりは目で見た情報が大

事であるとのこと、また、第一印象が決まる時間は0.4〜20秒であり、相手を見た瞬間に決まるとのことでした。

接遇マナー講習会



就業先訪問



ホンダカーズ茨城南 水戸けやき台店様

会員の仕事内容は、展示車の洗車で、勤務時間は9時30分から16時30分で、ひとりで対応しています。

会員の方にお聞きしました。「自宅から30分かけて通勤しています。展示車は20台程度あり、車の外回りやドア回りを洗浄して拭く作業です。綺麗に仕上げるようにいろいろ工夫して作業しています。」

ホンダ様には大変よくしていただいで、ロッカー等も使わせてもらっています。感謝しています。」と話されました。

ホンダ様では、今年2月から初めてシルバー人材センターに依頼したとのことでした。「車は外に展示しているので天候に関わらず汚れます。私たち社員は業務が多々あるため、シルバーさんをお願いした次第です。来てもらって手助けいただくことで、本当に助かっています。」とのお言葉がありました。



刃物研ぎ、ふすま張り・障子張り相談の受付

シルバー人材センターのシルバーサロンにおいて、12月15日の10時から16時までの6時間に刃物研ぎの受け付けを行いました。あわせて、ふすま張り、障子張りの相談及び受け付けも行いました。

年末に向かって使う機会の多い包丁や植木の剪定バサミ、鎌等、20丁の刃物研ぎの依頼があり、会員の皆様から好評を得ることができました。

ふすま張り、障子張りについては、随時受け付けておりますので、事務局までご連絡ください。

こみつとフェスティバルに参加しました

水戸市内で活動するNPO法人やボランティア団体を知ることができ、イベント「第11回こみつとフェスティバル」が、イオンモール水戸内原で開催され、2月19日に当センターの手芸

サークルが参加しました。

当日は日曜日であったことから、多くの方が集まって、展示された作品を手に取り、その出来栄に感動されておりました。当センターの紹介や会員募集のチラシ配布もあわせて行いました。



手芸作品の数々



手芸サークルの皆さん



チラシも配布しました

会員の声

今回は、植木の剪定作業現場にはしごを運んだり、切り取った枝葉等を持ち帰るお仕事をされているお二人の声を届けます。



★入会の動機は

何もしないでいるよりも、健康のため、社会との関わりを持ち、何かしていたいと思いい、入会しました。

★どんな仕事を

植木剪定の枝葉や残材の処理、はしごの配達と引き上げ、ポストを回って日報を回収する仕事をしています。

★健康の秘訣は

食事、運動、睡眠をたっぷりとる。
朝の散歩は40分(3km余り)歩いています。

栄養のバランスを考え、妻の料理を一切小言を言わず食べることです。

また、何か異常を感じたら、直ぐに医者に行くことにしています。

★今は

知り合い、仲間が増え、仕事が楽しいです。
高齢者と社会との関わりが広がっていくことを願っています。



★入会の動機は

何もしないでいるのだからシルバーセンターに入会して、何かやってみないかと友人に言われて入会しました。

★どんな仕事を

会員さんの仕事現場に資材の運搬・引き上げ、残材の引き上げをしています。

特に資材運搬等が多いので、常に会員さんと声を掛け合ひ、あいさつは忘れないようしています。また、安全運転を心がけています。

★健康の秘訣は

早寝、早起き、決まった三度の食事、体調に合った運動、散歩をできる限りやっています。



令和5・6年度

安全・適正就業スローガン
受賞者紹介

☆優秀賞

山本清明会員

「手を抜くな

心のスキマに事故が待つ」

スローガンに込めた思いは

仕事を始めた頃は比較的緊張して慎重に慎重に注意をして作業を行います。が、だんだん仕事に慣れてくると、安全のことを気にしないで、無意識に手足を動かします。手を抜くことなく、いつも新人のつもりで緊張しながら作業を行って欲しいです。

☆優良賞

船生敏司会員

「我が身を守るヘルメット

安全就業の第一歩」

スローガンに込めた思いは

高所作業でヘルメットをかぶらずに作業をし、落下して尊い命を失う事故が発生しています。このような不幸で悲しい重篤事故を二度と起こしてほしくないと、ヘルメット着用の大切さと啓発を兼ねて考えました。

桜川水系クリーン 作戦に参加して

水戸市主催の桜川水系ク
リーン作戦が令和4年11月19
日(土)に開催されました。
早朝8時半から1時間半、寒
い中、会員及び事務局職員計
21人と市役所職員の方々と駅
南大橋から柳堤橋までの約1
kmの清掃ボランティアに参加
してきました。

トング、軍手及びゴミ袋の
配布を受け、堤防を歩きなが



クリーン作戦に参加した皆さん



ゴミを拾う会員

ら、ジュースやコーヒーの空
き缶、タバコの吸い殻、菓子
袋等、大量にはありませんで
したが、ケガをすることもな
く、とても気持ち良くクリー
ン作戦を終えることができました。

のぼり旗や身に着けたビブ
スにより、水戸市シルバー人
材センターのPRもできたか
と思います。



春・夏・秋・冬

作品コーナー

竹細工

小松崎 紀夫さん

古希を迎えてから、「岩間の伝統工芸後継者育成」の募集に誘われ、竹工芸師の下で5年ほど修行しました。
生来手先の物づくりには興味があり、昔からの伝統の基礎から学び、籠やざる等普段使いの物を作っています。
ひとつ通りの道具を揃え、なんといつても材料となる竹を細く・薄く小割にする作業が大変ですが、竹は素性がよく、慣れてくるとケガもせず、思いどおりに出来上がったときの達成感は何とも言えません。

竹で作った行燈



材料となる竹の伐採から作品づくりまで全て手作業で行います

独自の千波湖クリーン作戦

毎年恒例となっていました。借楽園の梅まつり前の市中クリーン作戦が、コロナ感染防止のため今年も中止となりました。代わりに昨年6月に引き続き、水戸市シルバー人材センター独自の千波湖クリーン作戦が2月18日(土)に開催されました。

快晴のポカポカ陽気の中、会員と事務局職員計25人が千波公園のD51前に集まり、トンゲやゴミ袋等を受け取り、周回歩道や周辺の公園のゴミ拾いを行いました。利用する市民の多くの方々が公園をきれいに使って



新しいのぼり旗でアピール

いるせいか、ゴミはほとんどありませんでしたが、梅まつりやウォーキングでにぎわう多くの方々に水戸市シルバー人材センターのボランティア活動を見てもらえたかなと思ひ、少し誇らしく感じました。

ゴルフサークル紹介

安心して楽しめるサークルを
目指して

会長 勝田秀恒

当ゴルフサークル(仙湖会)は、現在笠間市扶桑カントリー倶楽部において年6回(4月、6月、9月、10月、12月、2



ナイスショット!

月)の第2火曜日に開催しています。

長年の間、先輩諸氏のご努力により面々と続いており、本年の6月に150回を迎える予定です。コロナ禍におきましてもゴルフ場側のしつかりした対策により、また、仙湖会としても当日各カートに消毒液を設置し、感染防止対策の周知・徹底を図り、プレーを楽しんでいます。

最近ではコンペの参加人数が増え、20名(5組)を超えるほどになりました。コンペでは、女性が上位に複数入り、男性が圧倒されることもあります。会員及び準会員には当会規則

編集後記

躍動の春、皆さんは春の到来をどんなときに感じますか。18歳まで雪深い地で育った私には、春は特別な思いがあります。数か月見ることのない地面が見え始める頃、コブシの蕾がふくらみ、雪どけのせせらぎに、フキノトウが顔を出す。ブナの芽吹き、スマイレにシヨウジョバカマと野山を彩る。40年前水戸に来た頃は、春をどう感じていくのか、と思った。今は先駆けて咲く借楽園の梅から、庭のクリスマスローズの蕾、福寿草が咲き、千波湖の柳の枝が色づき、道端の土筆を発見して、春の訪れを感じている。四季折々の自然を楽しめることが幸せだ。(川崎)

を配布し、ルールやマナーを遵守して頂き、スムーズなプレーをお願いしています。コンペの表彰式後の懇親会では皆様のご意見やご要望をお聞きし、ルールや関連事項の変更、改善が必要であれば善処して、当会のモットーである「安心して楽しめるゴルフサークル」を目指しています。